基本仕様（国土交通省「危機管理型水位計の観測基準・仕様」準拠）

無線送信部	
適合発信器	接触型　投込式水位計発信器 非接触型　電波式水位計発信器
入力数	1 点
測定周期	監視モード（平常時）；10 分 観測モード（洪水時）；2 分／ 5 分／ 10 分
水位処理	移動平均（1 秒ごと、20 秒間の測定値から最大最小 2 データずつを除いた平均値）、ゼロ点補正、標高補正、大気圧補正 ※、重力加速度補正 ※、密度補正 ※ ※ 投込式水位計のみ
送信データ	識別番号、監視・観測時刻、水位、電源監視データ、機器状態監視データ *1
送信周期	監視モード（平常時）；1 日 1 回死活監視用にデータ送信を実行 観測モード（洪水時）；測定周期と同じ周期で送信
制御方式	自律型　※ 遠隔設定機能付きは、上位のサーバから以下のタイミングで動作パラメータの設定変更が可能 監視モード（平常時）；1 日 1 回死活監視用のデータ送信の後 観測モード（洪水時）；正時のデータ送信の後
通信仕様	LTE Cat.1 （株）NTT ドコモの回線に対応
時刻補正	定期的に NITZ または NTP サーバと同期
ロガー機能	3 ヵ月間以上の観測データを保存
バッテリ	小型シール鉛蓄電池 12 V （接触型）12 Ah　（非接触型）17 Ah
太陽電池	最大出力電力　12 W
バックアップ期間	監視モードで 9 日間無日照のあと、観測モードで 150 回（測定周期 2 分で 5 時間）の観測が可能
構造	IP65
動作温度・湿度	-10 ～ 50℃、90%r.h. 以下（内部が結露しないこと）
使用環境	-30 ～ 50℃*2
材質	本体；PC ＋ ABS 樹脂、取付金具；SUS304
本体色	マンセル値 5Y7/1
外形寸法	無線送信ボックス ；約 300（W）×500（H）×165（D）mm 太陽電池 ；約 350（W）×292（H）×293（D）mm
質量	無線送信ボックス ；（接触型）約 10.2 kg （非接触型）約 12.0 kg 太陽電池 ；約 3.6 kg

＜接触型＞投込式水位計発信器	
検出方式	半導体センサによる水圧検出方式
測定範囲	-P1 □形 ；0 ～ 10 m -P2 □形 ；0 ～ 20 m
精度	-P1 □形 ；±10 mm 以内 -P2 □形 ；±20 mm 以内 ※ 空気圧試験 23℃ において
最大許容入力	4 MPa（水深 400 m 相当の圧力）
耐雷	電源とボディ間 10 kV
構造	JIS C 0920 70 m 水中形
動作温度	-10 ～ 60℃
使用環境	-30 ～ 60℃*2
材質	ボディ　；SUS316L ダイヤフラム ：ニッケル合金
外形寸法	-P □ 1 形；φ 60×200（H）mm -P □ 2 形；φ 90×218（H）mm
質量	-P □ 1 形；約 2.2 kg（ケーブルを除く） -P □ 2 形；約 2.6 kg（ケーブルを除く）

＜非接触型＞電波式水位計発信器	
検出方式	電波検出方式
設置高さ *3	最大 10.5 m（計測基準面から最低水位までの距離）
精度	±10 mm 以内（自由空間、周囲温度 25℃、金属平板を反射体とした場合）
中心周波数	5.8 GHz
出力電力	35μV/m 以下 at 3 m　自由空間用微弱電波機器（電波法の届出不要）
不感帯距離	0.5 m（不感帯距離は計測基準面からの距離）
構造	IP65
動作温度	-20 ～ 70℃
使用環境	-30 ～ 70℃*2
材質	ケース　；アルミダイキャスト アンテナ ；SUS316L、PTFE
外形寸法	φ 265（W）×584（H）mm（ケーブルを除く）
質量	約 4.2 kg（ケーブルを除く）

*1　センサ異常（水位欠測）の場合は、エラーコードと機器状態監視データ内のセンサ異常フラグを有効にし、水位値 0 cm を送信します。
*2　動作温度範囲外での動作を保証するものではありません。
*3　測定範囲は、照射エリアの水面の状態に影響を受けます。波立ちや水面変動が大きい荒れた水面では、静かな水面に比べ、波頭や気泡などの影響により測定範囲は短くなります。

本カタログに記載の仕様は 2025年 04月現在のものです。

＜使用上の注意＞
●本製品は本来の用途以外で使用した場合のいかなる事故や損害についても責任を負いかねます。
●本書で使用されている会社名･商品名は各社の登録商標または商標です。
●本書は万全を期して作成しておりますが、万一誤記等お気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
●本書の記載内容はお断りなく変更することがありますのでご了承ください。
●本書の各社の登録商標または商標には、（TM）マークや（R）マークは表示していません。

自然を計り、自然と共存し、
技術と創造で人々の安全な暮らしに貢献します

当社は、1852 年に中村浅吉測量器械舗として創業し、中浅測器、横河ウェザック、横河電子機器、YDK テクノロジーズと社名変更を経て、気象・水文観測機器の開発・製造・販売を行ってまいりました。
今後も事業理念をもとに、社会的使命を果たせるよう尽力してまいります。

株式会社 YDKテクノロジーズ
（旧：横河電子機器株式会社）

https://www.ydktechs.co.jp/

■ 本社　第2営業本部
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-23-13
TEL：03-3225-5364　FAX：03-3225-5314

■ 関西支店
〒541-0044 大阪府大阪市中央区伏見町 2-1-1
三井住友銀行高麗橋ビル 7F
TEL：06-4706-8026　FAX：06-4706-8028

■ 神奈川営業所・カスタマーセンター
〒257-8502 神奈川県秦野市曽屋 500
神奈川営業所　TEL：0463-57-4543　FAX：0463-84-8799
カスタマーセンター　TEL：0463-57-5055　FAX：0463-84-8799

BL-WW4901　2025.04　14版

YDK Technologies

危機管理型水位計

✔ **自律型でも！遠隔設定で動作パラメータの変更が可能**
✔ **ロガー機能強化！3ヵ月間以上の観測データを保存可能に**

河川観測用水位計のトップメーカーとして長年の経験と実績のある当社が、河川観測技術を活かした「危機管理型水位計」をご提案

製品名	危機管理型水位計
会社名	株式会社 YDKテクノロジーズ
水位の計測方式	接触型　：　水圧検出方式 非接触型　：　電波検出方式
制御方式	自律型または自律型（遠隔設定機能付き）

株式会社 YDKテクノロジーズ

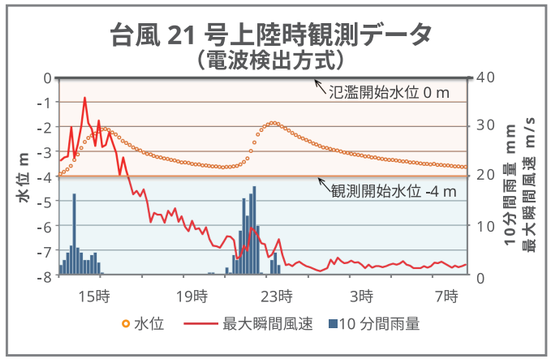
＜新機能＞遠隔設定機能付き
ロガー機能を強化し、さらに使いやすく！

遠隔設定で動作パラメータを変更

遠隔設定機能により、動作パラメータ（観測開始水位、観測周期）を死活監視や毎正時のデータ送信のタイミングで上位サーバから取得。
現地に赴くことなく、動作パラメータの変更が可能なので時間とコストを削減できます。

安定した水位観測を継続

「川の水位情報」の運用開始以降、安定した水位観測を継続しています。台風通過時も水位状況をリアルタイムに捉え、的確な情報を配信。



平成 30年 9月 4日に上陸した台風 21号通過時の実際のデータ

データの保存と回収がより便利に

- ロガー機能を強化、内部メモリに 3ヵ月以上の観測データを保存可能
- パソコンなどの機器を用いることなく、USBメモリや SDカード※だけでデータの回収が可能
- 1つのメディアで複数の水位観測局の水位データを回収可能

※SDカード使用時は USBメモリアダプタが必要です

優れた保守性

内蔵された液晶画面で水位や機器状態を確認可能。パソコンなどの機材を用いずに、現地での設定変更やメンテナンスが可能です。

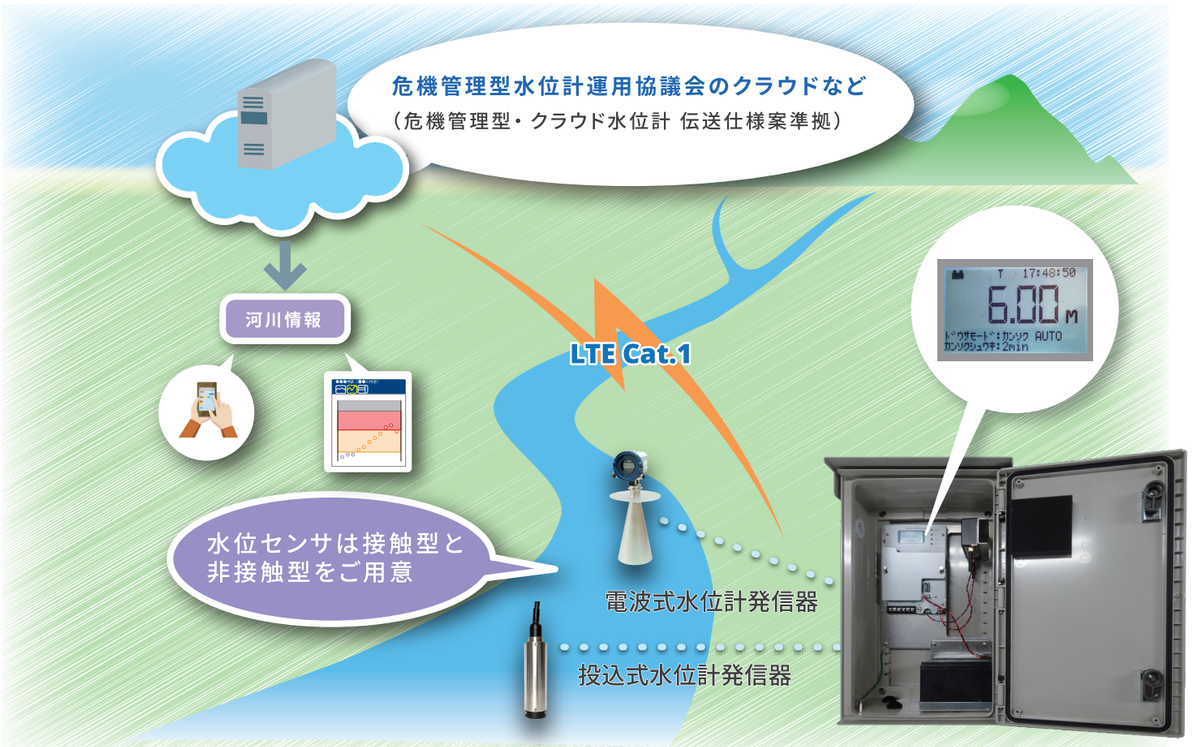
高い精度と信頼性

データの信頼性

平均時間内の異常値の除去で、水位観測データの信頼性を高めています。

高精度な測定

水位補正機能（大気圧補正、重力加速度補正、密度補正）標準装備で、より高精度な測定が可能です。

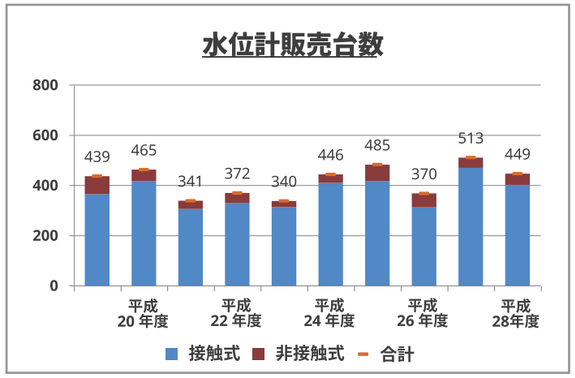


河川での実績

使用する水位計は河川での稼働実績があり、**Made in Japan**の信頼性の高い製品です。
また、当社は河川への水位計設置に関しても多くの経験と実績があります。

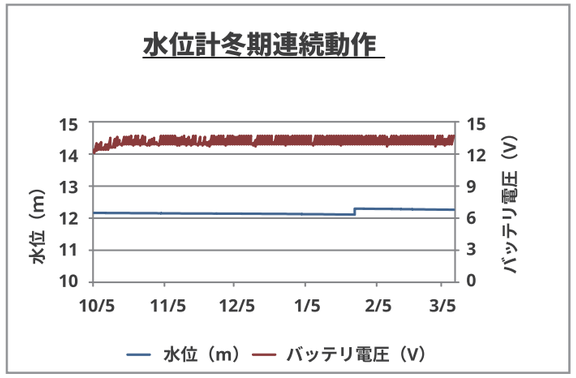
水位観測の実績

当社は、水防法で定められた「洪水予報河川」および「水位周知河川」に多くの水位計を納入しています。また水位計全体としては、下図に示す「水位計販売台数」の通り、豊富な納入実績で経験と信頼を積み重ねています。



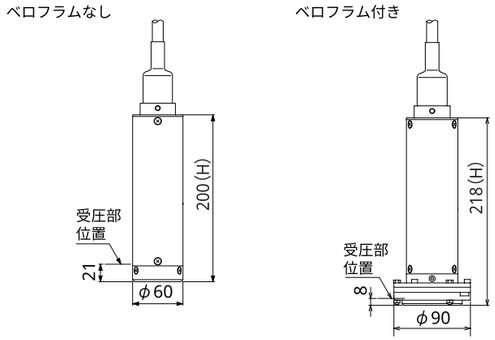
連続観測の実績

太陽電池およびバッテリの電源システムでは、日照時間の短い冬期に発電量が減少します。
当社水位計システムは、下図に示す「水位計冬期連続動作」の通り、10月から 3月の冬期間でも良好に稼働しています。



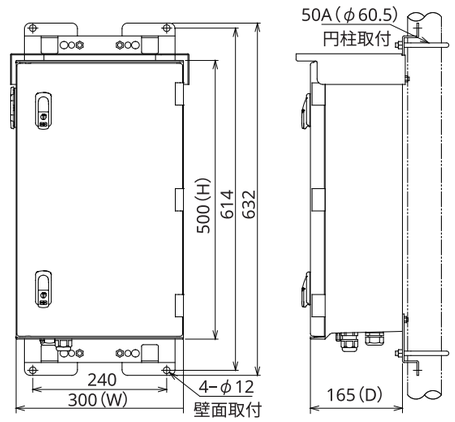
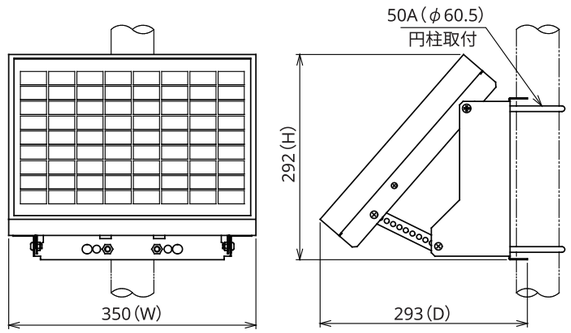
外形図（単位：mm）

＜接触型＞ 投込式水位計発信器



＜非接触型＞ 電波式水位計発信器

無線送信ボックス



太陽電池部